

VI 調査結果

～事業所調査～

VI. 調査結果 ～事業所調査～

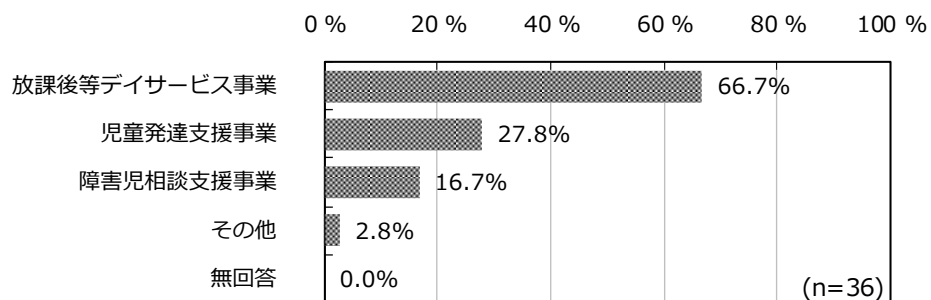
1. 事業所の概要

① 事業所で提供している障がい児福祉サービス

問1. 貴事業所で提供している児童福祉法に基づく障がい児福祉サービスをお答えください。

【あてはまるもの全てに○】

「放課後等デイサービス事業」が66.7%と最も高く、次いで「児童発達支援事業」が27.8%、「障害児相談支援事業」が16.7%となっている。

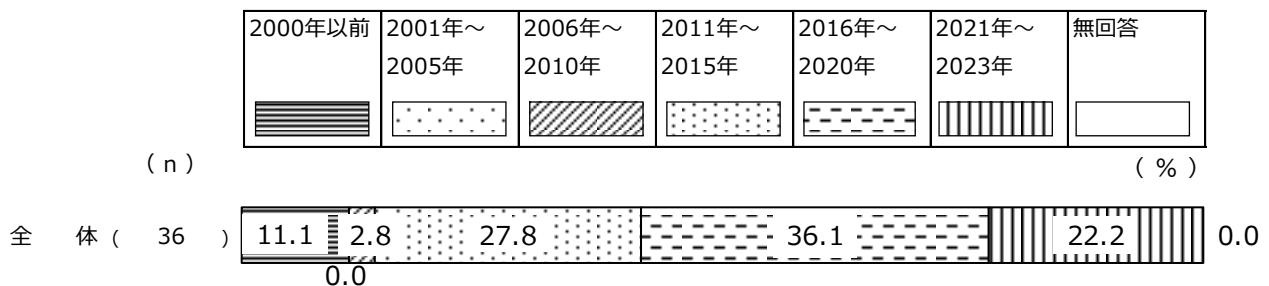


② 事業開始年度

問2. 貴事業所の事業開始年度を西暦でお答えください。

【数字を記入】

「2016年～2020年」が36.1%と最も高く、次いで「2011年～2015年」が27.8%、「2021年～2023年」が22.2%となっている。



③ 事業所の職員数（常勤職員・非常勤職員）・契約者数

問3. 貴事業所の職員数および、契約者数をお答えください。

※契約者数については定員ではなく、実人数をお答えください。

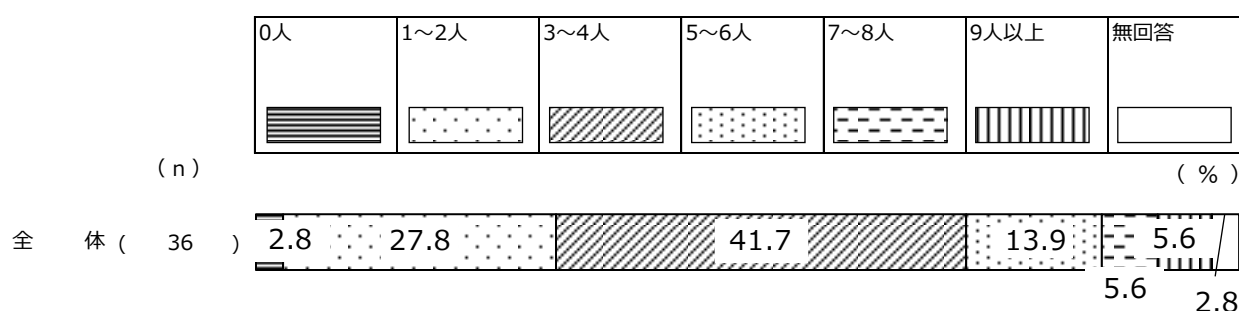
【数字を記入】

事業所の常勤職員数として「3～4人」が41.7%と最も高く、次いで「1～2人」が27.8%となっている。

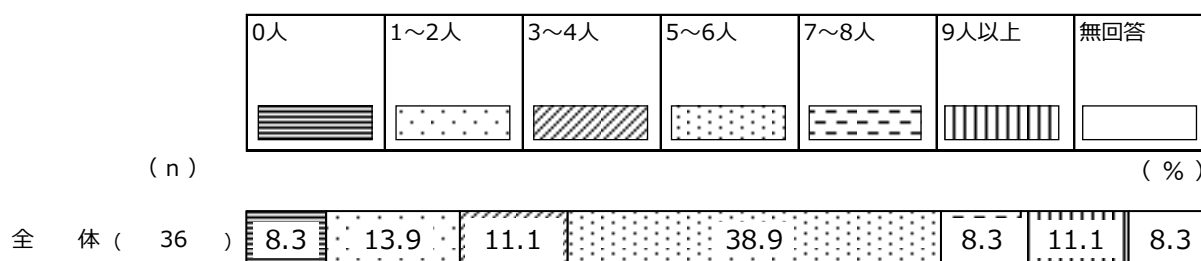
事業所の非常勤職員数として「5～6人」が38.9%と最も高く、次いで「1～2人」が13.9%となっている。

事業所の契約者数として「30人～49人」が38.9%と最も高く、次いで「10人～29人」が25.0%となっている。

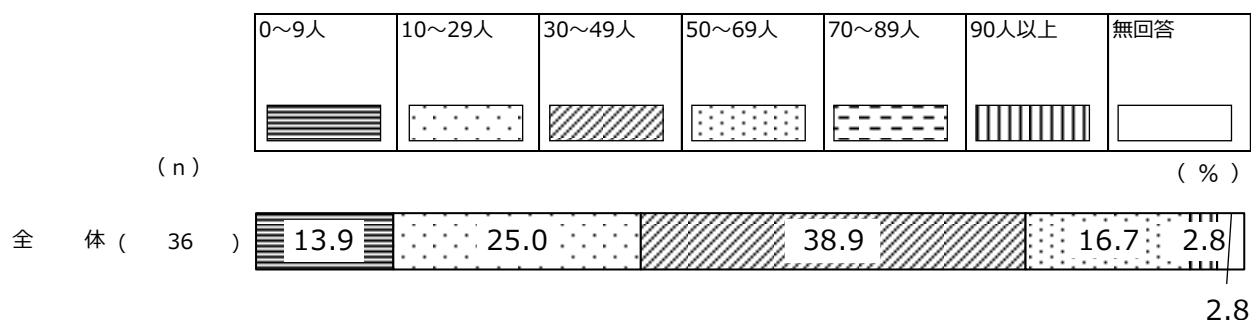
【常勤職員数】



【非常勤職員数】



【契約者数】

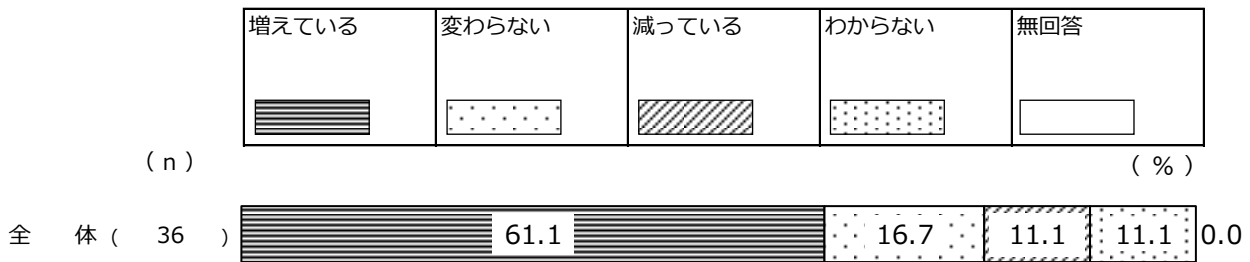


2. サービスの提供状況・体制について

① ニーズの変化

問4. 貴事業所が提供しているサービスの利用ニーズは直近の3年間でどのように変化していますか。【○は一つだけ】

事業所が提供しているサービスにおける直近3年間の利用ニーズの変化について、「増えている」が61.1%、「変わらない」が16.7%、「減っている」「わからない」がそれぞれ11.1%となっている。



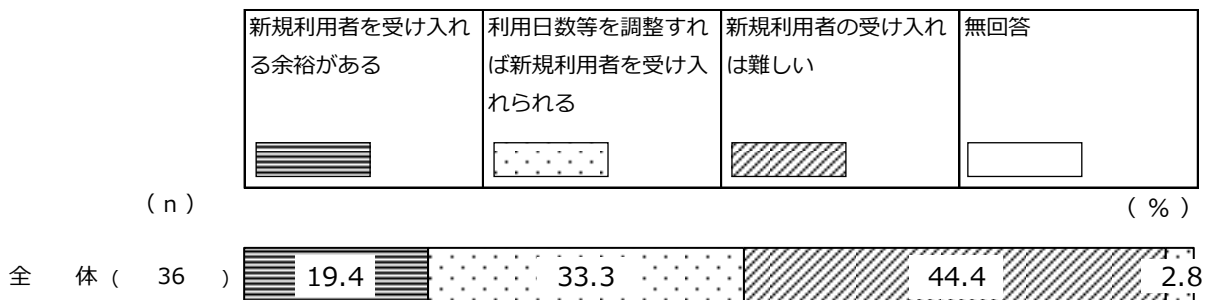
② 利用状況

問5. 貴事業所の利用状況について、最もあてはまるものを教えてください。【○は一つだけ】

利用状況について、「新規利用者を受け入れる余裕がある」が19.4%、「利用日数等を調整すれば新規利用者を受け入れられる」が33.3%、「新規利用者の受け入れは難しい」が44.4%となっている。

提供している事業別でみると、『児童発達支援事業』は他の事業よりも「新規利用者を受け入れる余裕がある」の割合が高かった。また、『障害児相談支援事業』は他の事業よりも「新規利用者の受け入れは難しい」の割合が高かった。

【単純集計】



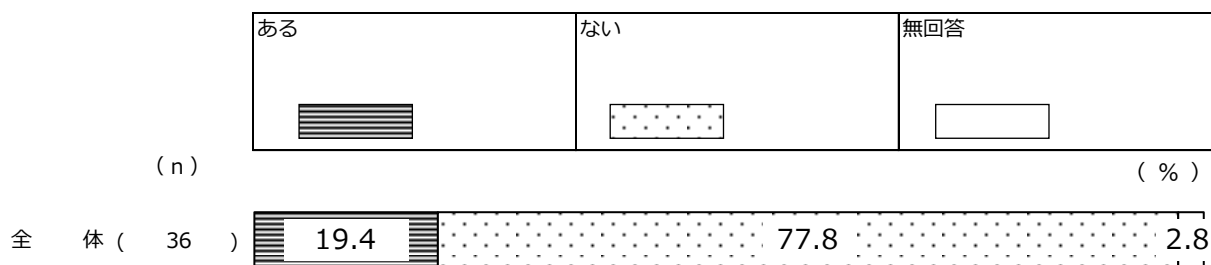
【クロス集計：問1 提供している障がい児福祉サービス×問5】

		回 答 数	裕 が あ る	新 規 利 用 者 を 受 け 入 れ る	規 利 用 日 数 等 を 調 整 す れ ば 新	し 新 規 利 用 者 の 受 け 入 れ は 難	無 回 答	
全体		36	19.4	33.3	44.4	2.8	(%)	
問1： 事業別	児童発達支援事業	10	40.0	50.0	10.0	0.0		
	放課後等デイサービス事業	24	8.3	45.8	45.8	0.0		
	障害児相談支援事業	6	0.0	16.7	66.7	16.7		

③ 新型コロナウイルスの影響

問6. 貴事業所の利用において、新型コロナウイルスによる「利用控え」の影響は現在でもありますか。 【○は一つだけ】

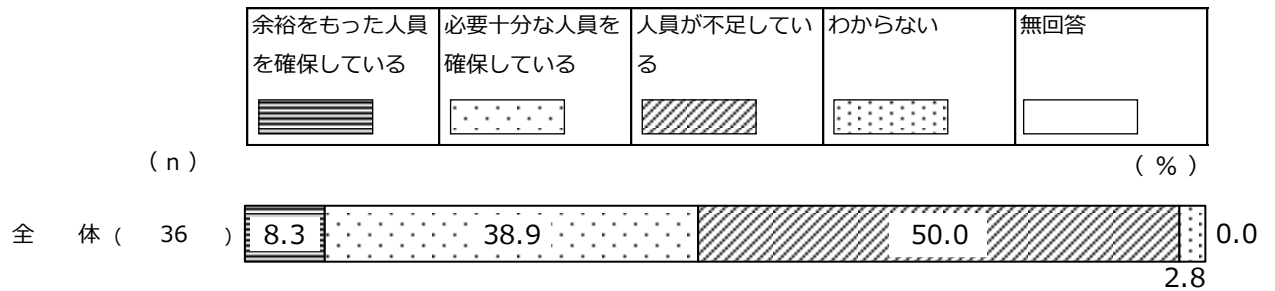
新型コロナウイルスによる「利用控え」の影響は現在でも「ある」が 19.4%、「ない」が 77.8%であった。



④ 人材の確保状況

問7. 貴事業所では、サービスを提供するにあたり、必要な人材を確保できていますか。
【○は一つだけ】

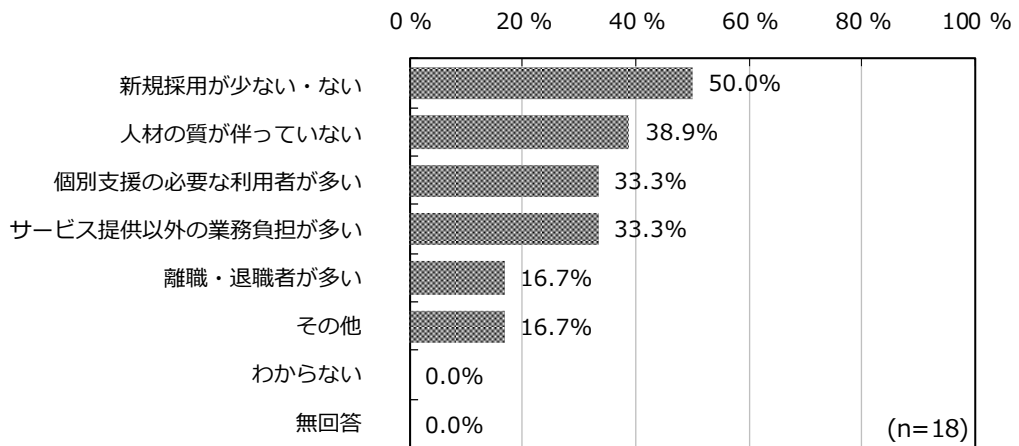
人材の確保状況に関して、「余裕をもった人員を確保している」が8.3%、「必要十分な人員を確保している」が38.9%、「人員が不足している」が50.0%、「わからない」が2.8%であった。



⑤ 人材不足の理由

【問7で「3. 人員が不足している」を選択した方にお伺いいたします】
問8. 貴事業所において、サービスを提供する人材が不足している理由として考えられるものをお答えください。
【あてはまるもの全てに○】

人材不足の理由として、「新規採用が少ない・ない」が最も高く50.0%であり、次いで「人材の質が伴っていない」が38.9%であった。



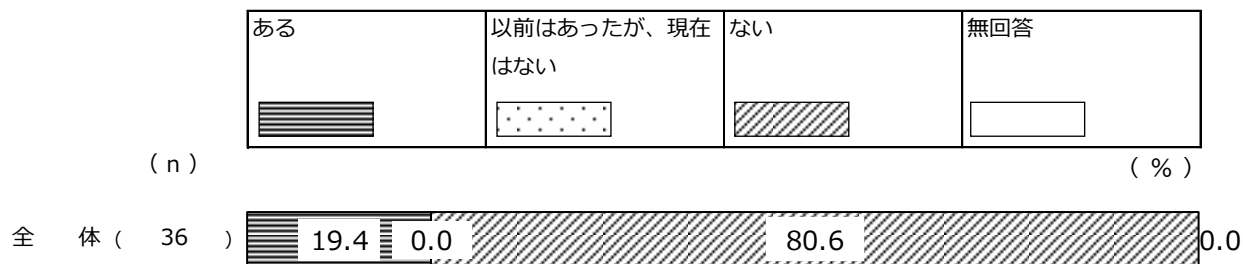
⑥ 医療的ケア児・重症心身障がい児への対応体制の有無

【改めて全ての方にお伺いいたします】

問 9. 貴事業所では医療的ケア児・重症心身障がい児に対応する体制がありますか。

【○は一つだけ】

医療的ケア児・重症心身障がい児への対応体制が「ある」が19.4%、「以前はあったが、現在は
ない」が0.0%、「ない」が80.6%であった。



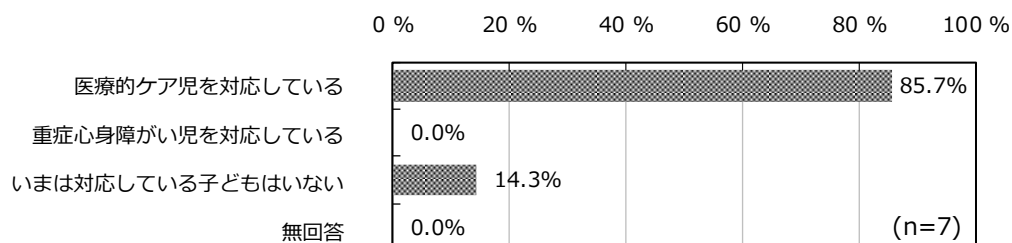
⑦ 医療的ケア児・重症心身障がい児の現在の対応状況

【問9で「1. ある」を選択した方にお伺いいたします】

問 10. いま現在、対応している子どもはいますか。

【○はいくつでも】

医療的ケア児・重症心身障がい児の現在の対応状況として、「医療的ケア児に対応している」が
85.7%、「重症心身障がい児に対応している」は 0.0%、「いまは対応している子どもはいない」
は14.3%であった。

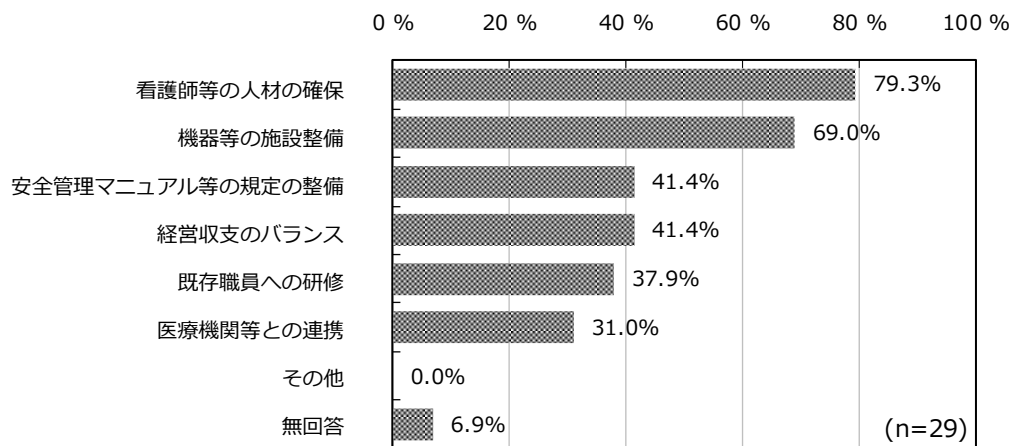


⑧ 医療的ケア児・重症心身障がい児への対応体制未整備の理由

【問9で「2」・「3」を選択した方（体制が、以前はあったが、現在はない/ない）にお伺いいたします】

問11. 貴事業所で医療的ケア児・重症心身障がい児に対応する体制を整える上で、難度が高いと思うものをお答えください。 【○はいくつでも】

医療的ケア児・重症心身障がい児への対応体制が未整備の理由として、「看護師等の人材の確保」が最も高く79.3%、次いで「機器等の施設整備」で69.0%であった。

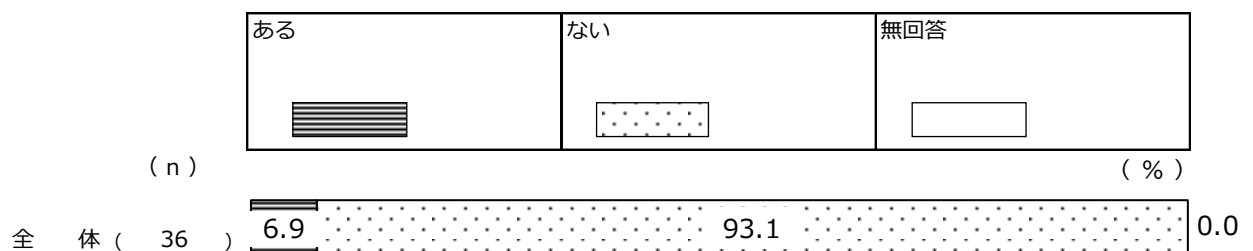


⑨ 医療的ケア児・重症心身障がい児への対応体制の整備の予定有無

【問9で「2」・「3」を選択した方（体制が、以前はあったが、現在はない/ない）にお伺いいたします】

問12. 今後、医療的ケア児や重症心身障がい児に対応する体制を整備する予定はありますか。 【○は一つだけ】

医療的ケア児・重症心身障がい児への対応体制の整備の予定が「ある」は6.9%、「ない」は93.1%であった。

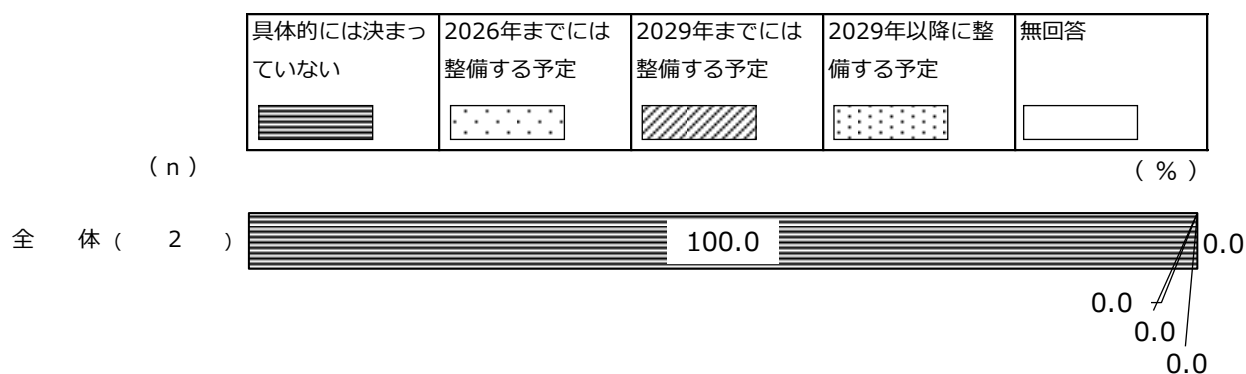


⑩ 医療的ケア児・重症心身障がい児への対応体制の整備の予定時期

【問 12 で「1. ある」を選択した方にお伺いいたします】

問 13. 今後、どのくらいで医療的ケア児や重症心身障がい児に対応する体制を整備する予定ですか。 【○は一つだけ】

医療的ケア児・重症心身障がい児への対応体制の整備の予定が「ある」事業所の整備予定時期は「具体的には決まっていない」が 100.0%であった。(n=2 のため、参考値)

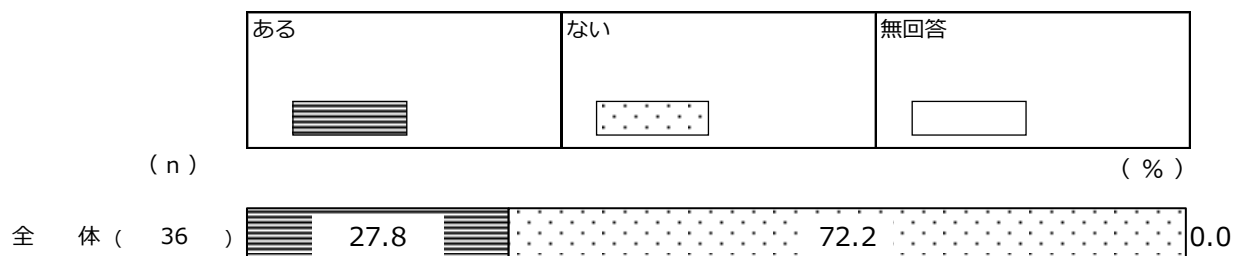


⑪ 新規事業所開設の予定有無

【改めて全ての方にお伺いいたします】

問 14. 今後、町田市内で新たな事業所を開設する予定はありますか。 【○は一つだけ】

今後新たに事業所の開設の予定が「ある」は 27.8%、「ない」は 72.2%であった。



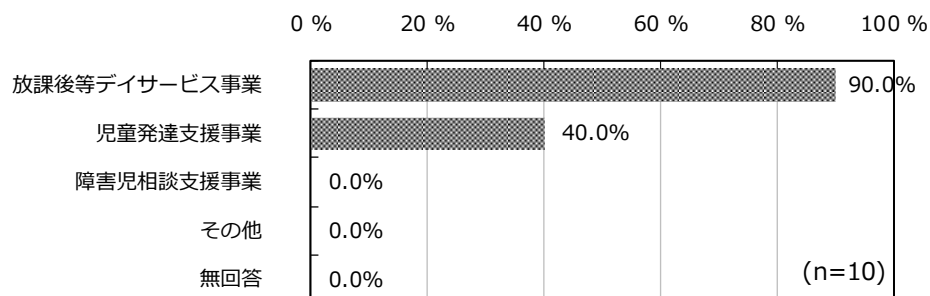
⑫ 今後開設する事業所での提供予定サービス

【問 14 で「1. ある」を選択した方にお伺いいたします】

問 15. 新たな事業所で提供を予定しているサービスをお答えください。

【あてはまるもの全てに○】

今後開設する事業所で提供を予定しているサービスとしては「放課後等デイサービス事業」が 90.0%と最も高く、次いで「児童発達支援事業」で 40.0%であった。



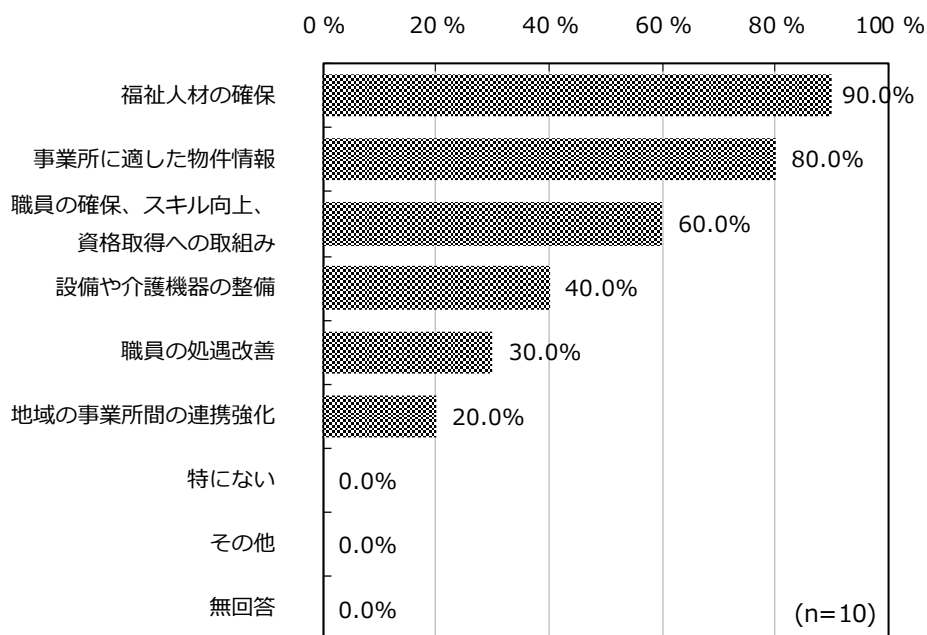
⑬ 新たな事業所の開設や確保・誘致における課題や不足点

【問 14 で「1. ある」を選択した方にお伺いいたします】

問 16. 新たな事業所の開設又は確保・誘致にあたっての課題や不足していることについてお答えください。

【あてはまるもの全てに○】

新たな事業所の開設や確保・誘致における課題や不足点として、「福祉人材の確保」が 90.0%と最も高く、次いで「事業所に適した物件情報」で 80.0%であった。



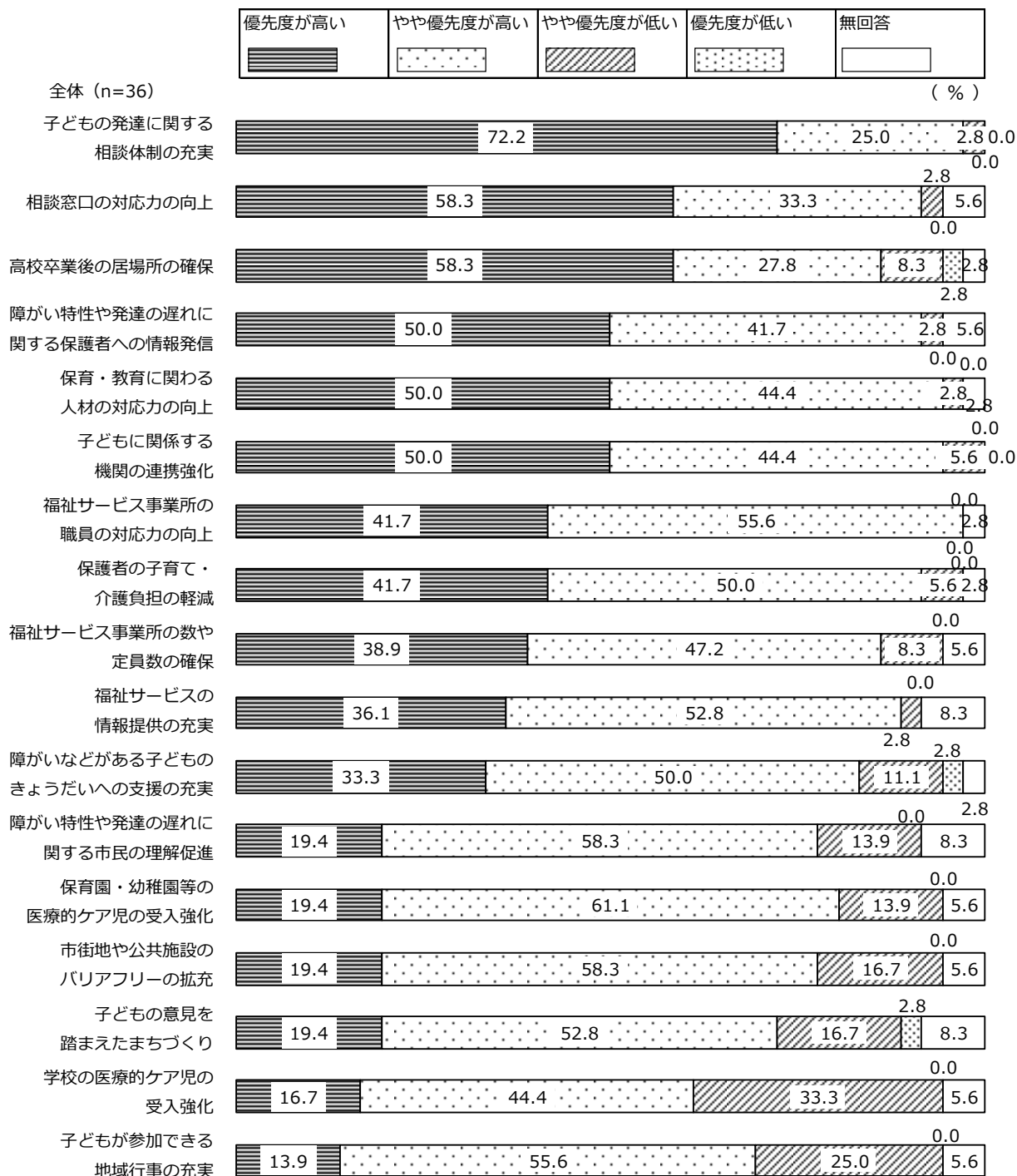
3. 調査問共通設問

① 今後の町田市の障がい児施策優先度

【改めて全ての方にお伺いいたします】

問 17. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。【○はそれぞれに一つずつ】

今後の町田市の障がい児施策として、「優先度が高い」施策は「子どもの発達に関する相談体制の充実」が72.2%と最も高く、次いで「相談窓口の対応力の向上」「高校卒業後の居場所の確保」がともに58.3%であった。



※項目名は、調査票提示順ではなく「優先度が高い」の割合が高い順に並び替え

② 複合化後の「子ども発達センター」に求めること

問 18. 「子ども発達センター」は、2028 年度以降に現在の「教育センター」（町田市木曽東 3-1-3）の敷地内に設置を予定している複合施設（（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設）へ移転する予定です。複合化された後の「子ども発達センター」に求めるものについてあてはまるものをお選びください。 【あてはまるもの全てに○】

複合化後の「子ども発達センター」に求めることとして、「複合施設内で他のサービスとの連携が図れていること」が 86.1%と最も高く、次いで「障がい児が利用しやすい環境であること」が 83.3%であった。

